

今日のトピック 世界の「投信マネー」

株式はグローバルとアジア、債券は北米中心に流入超

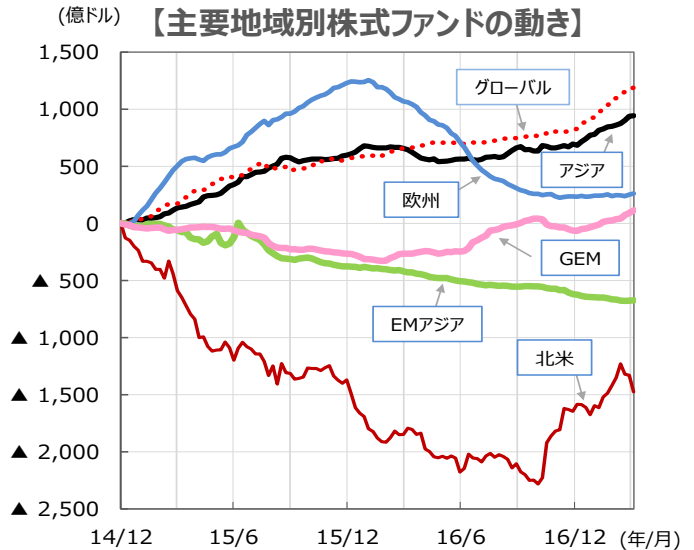
株式はグローバルとアジアが大幅流入超

- EPFRグローバル(注1)で世界の「投信マネー」の2017年1月~3月の動向を見ると、株式ファンド、債券ファンド共に資金の流入が続いています。
- 株式ファンドでは、「グローバル」と「アジア(注3)」で大幅な流入超となっています。「アジア」は「日本」を含む「アジア・パシフィック」です。2017年1月~3月の累計で見ると、株式ファンドは893億ドルの流入超でした。うち「グローバル」が362億ドル、「アジア」が260億ドルの流入超で、株式ファンド全体の流入超過額の69.6%を占めました。他に「GEM(注4)」が178億ドル、「欧州」も27億ドルの流入超と堅調でした。
- 一方、「北米」は2016年10月に流入超に転じ、2017年2月まで流入傾向が続いていましたが、3月以降は流出となりました。「新興国アジア(EMアジア)」は流出傾向が続いていますが、3月下旬に流入超に転じました。

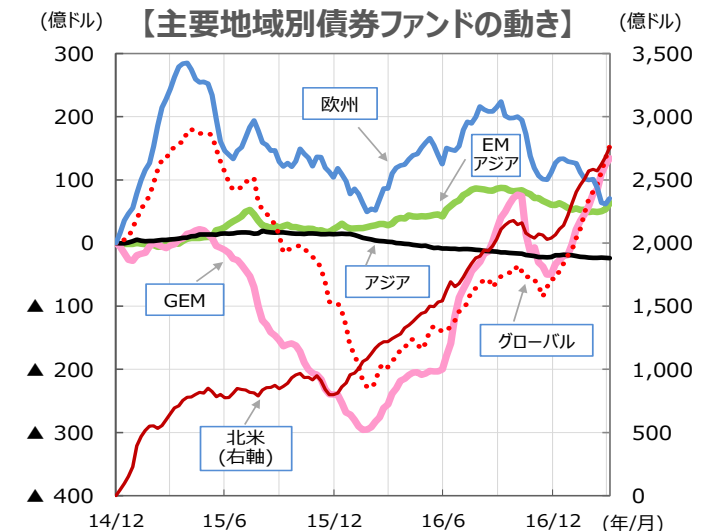
債券は北米中心に大量流入が継続

- 債券ファンドは引き続き大量の資金が「北米」を中心に流入しています。2017年1月~3月の流入超過額は1,028億ドルで、うち692億ドルが「北米」でした。
- また、「グローバル」が同期間の累計で210億ドル、「GEM」も同168億ドルの流入超となりました。債券ファンドは、米国を中心に緩やかな利上げが想定される中、安定したパフォーマンスが期待できることから、資金の流入が続くと思われる。

【主要地域別株式ファンドの動き】



【主要地域別債券ファンドの動き】



(注1) EPFRグローバル：米国に本社を置く金融商品の調査会社。2017年2月末現在27.5兆ドル規模の世界のファンドの資金フローデータを持つ。
 (注2) データは2014年12月~2017年3月。週次ベース。2014年12月からの累計。
 (注3) アジアはアジアパシフィックで、パシフィック地域、豪州、ニュージーランド、香港、シンガポール、日本の合計。
 (注4) GEM：Global Emerging Markets (世界新興国市場全体に投資するファンドの総称)。
 (出所) EPFRグローバルのデータを基に三井住友アセットマネジメント作成

**ここも
チェック!**

2017年3月23日 最近の米国の債券市場 (2017年3月)
2017年3月15日 業績の上振れが見込まれるアジア・オセアニア株式市場

■当資料は、情報提供を目的として、三井住友アセットマネジメントが作成したものです。特定の投資信託、生命保険、株式、債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。■当資料に基づいて取られた投資行動の結果については、当社は責任を負いません。■当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。■当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績及び将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。■当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。■当資料に掲載されている写真がある場合、写真はイメージであり、本文とは関係ない場合があります。